



2023年3月期 第3四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2023年2月8日

上場会社名 新東工業株式会社
 コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務・法務部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 永井 淳
 (氏名) 家田 明日香

TEL 052-582-9211

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	77,772	10.1	1,082	△41.5	2,684	△15.9	1,529	△25.4
2022年3月期第3四半期	70,650	22.4	1,850	988.1	3,192	170.8	2,051	291.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,842百万円 (△16.7%) 2022年3月期第3四半期 4,612百万円 (73.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	29.14	—
2022年3月期第3四半期	38.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	165,985	111,422	63.5	2,014.19
2022年3月期	168,586	109,641	61.7	1,956.15

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 105,453百万円 2022年3月期 104,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年3月期	—	14.00	—		
2023年3月期 (予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年 3月期の連結業績予想 (2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	6.8	2,400	△7.9	4,500	0.5	5,300	86.9	100.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	54,580,928 株	2022年3月期	54,580,928 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	2,225,677 株	2022年3月期	1,367,284 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	52,509,423 株	2022年3月期3Q	53,225,617 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国の「ゼロコロナ」から「ウィズコロナ」への政策転換を受け、世界的にコロナ危機からの回復に傾いてきましたが、高インフレと金融引き締めで景気の回復ペースは鈍化しており、欧米でのさらなる景気後退の懸念や中国での新規感染者急増による「ゼロコロナ」政策への揺り戻し懸念など、先行きは不透明感が增大しています。

国内では新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の終息は見えておらず、半導体不足による自動車等の生産抑制、原材料・エネルギーコストの上昇、資材調達難等、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの事業環境につきましては、半導体の供給不安や資材の調達難、原材料価格上昇は依然として継続しておりコスト高が続いておりますが、供給不足で抑制されていた自動車生産の回復が見込まれることにより、需要も回復が期待されます。またアセアン諸国での設備需要が増加しつつ、国内では半導体産業等の電子業界向けを中心に設備や部品・消耗品は継続して堅調に推移しております。

こうした情勢下、受注高は対前年同四半期比4,509百万円増加の85,310百万円（対前年同四半期比5.6%増）、売上高は同7,122百万円増加の77,772百万円（同10.1%増）、受注残高は同5,443百万円増加の51,927百万円（同11.7%増）となりました。収益につきましては、営業利益は原材料等の調達コスト増要因により同767百万円減少の1,082百万円（同41.5%減）、経常利益は同508百万円減少の2,684百万円（同15.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同521百万円減少の1,529百万円（同25.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

[表面処理事業]

売上高は、一部部品の供給不足等が続いたことにより装置の売上高は伸び悩みましたが、部品・消耗品を含めたトータル金額は、同3,807百万円増加の34,246百万円（同12.5%増）となりました。営業利益は、装置売上高の減少と原価率上昇はあったものの増収により同88百万円増加の2,087百万円（同4.4%増）となりました。

なお、受注高は、電子分野向けの大口設備案件のほか鉄骨分野向けがともに堅調に推移し、同6,230百万円増加の37,978百万円（同19.6%増）、受注残高は同3,034百万円増加の9,754百万円（同45.2%増）となりました。

[Casting事業]

売上高は、電子関連を中心とした部品の長納期化による大型案件の進捗売上が低調に推移しましたが、感染症影響による売上延期が続く海外案件では、海外拠点との連携やオンライン技術活用等で顧客での検収が進み、同2,997百万円増加の26,569百万円（同12.7%増）となりました。営業損益は、原材料やエネルギーコスト、海上運賃等の上昇が継続したこと等により、407百万円の損失（前年同四半期は9百万円の利益）となりました。

なお、受注高は、インドやアセアンの一部地域にて増加したものの、国内や北南米での設備投資回復の遅れが続いており、対前年同四半期比3,553百万円減少の24,930百万円（対前年同四半期比12.5%減）、受注残高は同1,812百万円減少の24,759百万円（同6.8%減）となりました。

[環境事業]

売上高は、大型案件の顧客都合による納期延期に伴う進捗売上の低調に加え、電気部品の長納期化による影響で出荷が滞り、同269百万円減少の7,166百万円（同3.6%減）となりました。営業利益は、減収に加え原材料等のコストアップが十分に吸収できなかったこと等により同197百万円減少の372百万円（同34.7%減）となりました。

なお、受注高は、有害ガス処理設備、排水処理設備が堅調でしたが大型集塵機の案件が低調で、同361百万円減少の8,066百万円（同4.3%減）、受注残高は同568百万円増加の5,587百万円（同11.3%増）となりました。

[搬送事業]

売上高は、物流業界の堅調を受け同211百万円増加の4,656百万円（同4.8%増）となりました。営業利益は、原材料等の調達コスト増はありましたが、同23百万円増加の427百万円（同5.9%増）となりました。

なお、受注高はリフト・コンベアの通販向け需要の継続、また工作機械向けの回復傾向により同1,057百万円増加の5,913百万円（同21.8%増）、受注残高は同1,270百万円増加の3,328百万円（同61.7%増）となりました。

[特機事業]

売上高は、車載向け等の二次電池市場の高圧ロールプレスが好調により、同523百万円増加の5,757百万円（同10.0%増）となりました。営業損益は、部品・原材料価格の高騰等により471百万円の損失（前年同四半期は260百万円の損失）となりました。

なお、受注高は同1,134百万円増加の8,301百万円（前年同四半期比15.8%増）、受注残高は同2,382百万円増加の8,498百万円（同39.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,600百万円減少し、165,985百万円となりました。

負債合計は、借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4,382百万円減少し、54,562百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定等の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,781百万円増加し、111,422百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想については、当社が保有する投資有価証券の一部を売却するため、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見通しとなりましたので修正いたしました。

詳細については、本日(2023年2月8日)公表いたしました「投資有価証券売却益(特別利益)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,736	28,942
受取手形、売掛金及び契約資産	34,913	35,592
有価証券	10,799	7,998
製品	4,427	5,391
仕掛品	5,091	6,852
原材料及び貯蔵品	4,895	6,664
その他	3,229	3,629
貸倒引当金	△264	△255
流動資産合計	96,828	94,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,711	14,227
機械装置及び運搬具（純額）	4,917	5,163
その他（純額）	10,768	10,743
有形固定資産合計	28,398	30,134
無形固定資産		
のれん	232	175
その他	1,729	1,673
無形固定資産合計	1,961	1,848
投資その他の資産		
投資有価証券	33,957	33,466
その他	7,480	5,759
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,397	39,185
固定資産合計	71,757	71,168
資産合計	168,586	165,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,480	14,000
短期借入金	12,264	1,984
未払法人税等	328	277
賞与引当金	1,676	1,078
役員賞与引当金	102	103
製品保証引当金	354	326
受注損失引当金	278	442
その他	12,054	14,297
流動負債合計	42,539	32,511
固定負債		
長期借入金	7,222	12,886
役員退職慰労引当金	417	453
退職給付に係る負債	926	1,091
資産除去債務	17	17
その他	7,821	7,603
固定負債合計	16,405	22,051
負債合計	58,944	54,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,310	6,310
利益剰余金	79,622	79,711
自己株式	△1,501	△2,082
株主資本合計	90,183	89,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,697	10,942
為替換算調整勘定	300	4,032
退職給付に係る調整累計額	912	785
その他の包括利益累計額合計	13,910	15,761
非支配株主持分	5,547	5,969
純資産合計	109,641	111,422
負債純資産合計	168,586	165,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	70,650	77,772
売上原価	50,612	56,876
売上総利益	20,038	20,896
販売費及び一般管理費	18,188	19,814
営業利益	1,850	1,082
営業外収益		
受取利息	55	130
受取配当金	603	669
持分法による投資利益	553	449
為替差益	108	128
その他	309	432
営業外収益合計	1,631	1,810
営業外費用		
支払利息	107	108
その他	181	100
営業外費用合計	289	208
経常利益	3,192	2,684
特別利益		
固定資産売却益	51	24
投資有価証券売却益	-	29
特別利益合計	51	54
特別損失		
固定資産売却損	21	0
固定資産廃却損	15	4
投資有価証券評価損	-	51
特別損失合計	36	55
税金等調整前四半期純利益	3,206	2,682
法人税、住民税及び事業税	623	718
法人税等調整額	427	345
法人税等合計	1,051	1,064
四半期純利益	2,155	1,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,051	1,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,155	1,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,116	△1,759
為替換算調整勘定	1,439	3,776
退職給付に係る調整額	△96	△126
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	334
その他の包括利益合計	2,457	2,223
四半期包括利益	4,612	3,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,359	3,380
非支配株主に係る四半期包括利益	253	461

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」(2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産は有形固定資産の「その他(純額)」が323百万円、リース負債は流動負債の「その他」が101百万円、固定負債の「その他」が221百万円増加しています。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	30,421	23,161	7,322	4,425	5,201	70,532	118	70,650	-	70,650
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16	410	113	20	32	593	1,328	1,922	△1,922	-
計	30,438	23,572	7,435	4,445	5,233	71,125	1,446	72,572	△1,922	70,650
セグメント利益 又は損失(△)	1,998	9	570	403	△260	2,721	69	2,791	△941	1,850

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△941百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,023百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	表面処 理事業	鋳造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	34,244	26,098	6,969	4,640	5,700	77,653	119	77,772	-	77,772
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	471	197	16	56	742	1,249	1,992	△1,992	-
計	34,246	26,569	7,166	4,656	5,757	78,396	1,369	79,765	△1,992	77,772
セグメント利益 又は損失(△)	2,087	△407	372	427	△471	2,007	67	2,075	△992	1,082

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△992百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

関連情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
45,449	5,949	5,610	5,153	5,085	3,401	70,650

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国・インド

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
39,769	7,932	8,800	8,259	7,152	5,858	77,772

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国・インド

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………トルコ・ドイツ

(4) 南アメリカ……………ブラジル